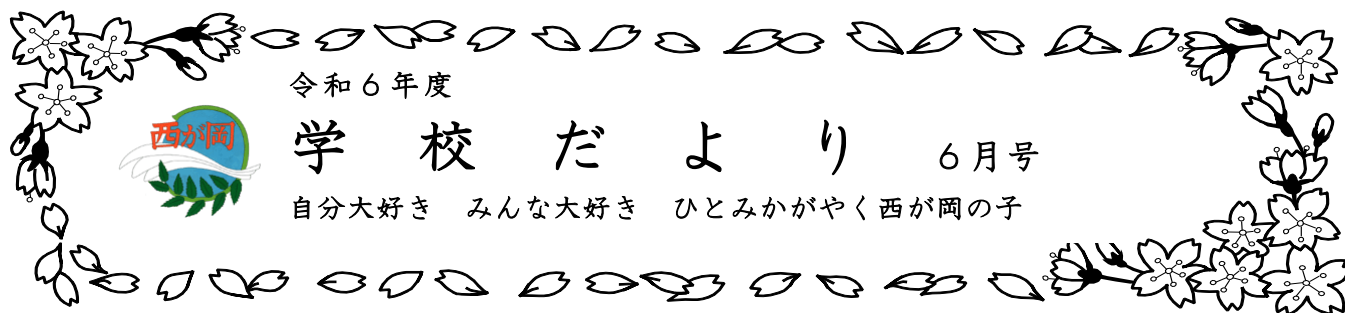


令和6年5月31日



令和6年度



学校だより 6月号

自分大好き みんな大好き ひとみかがやく西が岡の子

横浜市立西が岡小学校 泉区西が岡 3-12-11 TEL814-3603

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/nishigaoka/>



## あいさつをしよう

副校長 中山 純子

木々の緑が色濃くなり、季節の移り変わりを感じるころとなりました。4月から始まった新年度も2か月近くが経ち、子どもたちも学校生活が軌道に乗ってきたころだと思います。私自身も4月に西が岡小学校に赴任となり、はじめのうちは教室の位置すら分からず、毎日緊張し、戸惑うことも多かったのですが、少しずつ慣れてきました。創立30周年という記念すべき年に本校に携わることができ、とても嬉しく思っています。子どもたちのために自分のできることを精一杯がんばっていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

さて、表題の「あいさつをしよう」、これは、西が岡小学校の前期生活目標です。目標を焦点化して、子どもたちが取り組みやすく、また振り返りやすくするためにとてもシンプルで分かりやすくなっています。1年生から6年生までが、そして教職員も同じ目標を意識しながら学校生活を送ることが出来ます。

この「あいさつをしよう」には、自分なりにいろいろな言葉をつけることができます。たとえば、「自分から」「笑顔で」「元気よく」「気持ちのよい」「さわやかな」など、どんなふうに挨拶をするか、また「家族に」「友達に」「地域の方に」「誰にでも」というように相手を意識することもできます。一人ひとりが自分にあった言葉をつけることで、同じ「あいさつをしよう」でも少しずつ変わってきます。私も「誰にでも気持ちのよいあいさつをしよう」という目標をたてて実践するようになっています。

「挨拶」という言葉の意味を調べると、「挨」には心を開く、「拶」には相手に近づくという意味があるそうです。「心を開いて、相手に近づく」つまりあいさつは、人間関係を築くためにとても大切で、コミュニケーションの第一歩であるといえるでしょう。

先日、日光修学旅行で6年生がいない朝、正門の前で5年生が6年生の代わりにあいさつ活動をしていて、元気な声が響いていました。日々の6年生の姿を見て、自分たちも頑張ろうという気持ちで取り組んでくれていたのだと思います。そんな5年生の姿を見て、1~4年生の子どもたちも笑顔であいさつを交わしていました。

これからも素敵なあいさつが響き渡る西が岡小学校になるよう、みんなでがんばっていきたいと思います。